

京都市政史編さん通信

第 35 号
2009 年 7 月

目次

井上幸治「〔史料紹介〕 碓井小三郎履歴書」	1
歴史資料館だより	8
京わらべ	8

〔史料紹介〕 碓井小三郎履歴書

井上幸治

碓井小三郎（椿嵐窟・郁五堂・玉輪・孤石・惟志などと号した、一八六五～一九二八年）は、市会議員・府会議員をつとめた糸物商である（1）。市議には一八九二～一九〇四（明治二五～三七）年に、府議には一九〇五～一五（明治三八～大正四）年に在職し、短期間であるが府会副議長もつとめている。若くして議員となった小三郎は、地域の名望家でもあった。そのため、学区・共同組合などの公職も多数つとめている。

小三郎のことを述べる際に重要となるのは、彼が京都の歴史や史跡・古美術に強い関心をもっていたことである。市議となつてすぐに平安遷都千百年記念祭にかかわりはじめ、取調委員となつただけでなく、時代祭創設にあつても取調委員として行列の考証もつとめている。

史跡・美術とのかかわりは終生続き、五二会など各種の博覧会委員となつただけでなく、史跡保存のための保勝会や北野会（北野天満宮）・太秦聖徳太子報徳会（広隆寺）など、さまざまな組織・団体とかかわりをもつた。これらの知識・経験の一端は、著作『京都坊目誌』として結実するが、これは近代京都の地誌として高く評価されている（2）。

本稿は、小三郎の詳細な履歴を知ることのできるものであるが、この史料は二〇〇七年度の調査において確認できたものである。この調査では、他にも『京都坊目誌』の続編原稿をはじめ、他地域の古美術愛好家との交流を示す書簡や、歿時の経緯を記した病状記録、小三郎の次女による回想記などが含まれている。

本稿で紹介する履歴書は、一九二六年七月三十日に作成され、一九二八年一月に追補されたものである。なお、この「履歴書」は、「〇〇ヲ囑託ス」

といったように、多くの文章で主語が小三郎ではない。そのような部分はおそらく、辞令などに記される文言をそのまま写しとつたためと推察される。

（1）碓井小三郎は、『京都府議会歴代議員録』（京都府議会、一九六一年）に紹介され、『平安時代史事典』上（角川書店、一九九四年）・『京都市姓氏歴史人物大辞典』（角川書店、一九九七年）などに、項目として採用されている。

号のうち郁五堂は、生家のあつた新町通竹屋町は、平安宮の郁芳門の故地から東へ五町の地に当たっていたが、ある日、ムベ（郁）の実を五つ贈られたことにより、使用を決意したという。さらに玉輪は、画の師である望月玉泉から贈られたもの、惟志は歌人としての号である。

（2）『京都坊目誌』は、一九二六年に『京都叢書』として刊行された（後に『新修 京都叢書』第一七～二として臨川書店が復刻）。

〔凡例〕

- 一、本稿は、碓井（精）家文書（森俊朗氏提供）の履歴書の翻刻である。
- 一、原史料は、中央部（柱）に「京都坊目誌稿本」と印刷された縦書野紙を用い、横線を引いて上中下の三段に分け、上欄に年月日、中欄に記事内容、下欄に囑託・選定などの主体を記している。本稿では、紙幅の都合上、下欄記述を（ ）内に収め、各記事の末尾に配置した。
- 一、原史料で下欄に注記されている年齢は、省略した。
- 一、小字・割書は、（ ）内に収めた。「（中略）」などとあるものも、原史料のままである。
- 一、原史料中の誤字・脱字は、訂正していない。例えば、「小川又二」は本来「小川又次」であるが、そのままとした。
- 一、旧字・異体字は現行の字体に改め、闕字は省略した。

履歷書

京都府京都市上京区新町通竹屋町下ル弁財天町二百九十三番地

平民 糸物商 碓井小三郎 慶応元年七月十日生

慶応元年七月十日生

明治九年一月兄佐七死亡ニ付戸主ト為リ第五世ヲ相続ス、同時小学校七級ヲ卒へ六級ヲ中途退学シ家業ニ従事ス傍ラ読書及ヒ華道ヲ小野道文ニ同十四年十月絵画ヲ望月玉泉ニ彩色法ヲ土佐光武ニ同廿一年二月国文及ヒ和歌ヲ遠藤千胤ニ学フ

明治九年一月 七日 家督相続ス

明治十五年九月十四日 戸主タルヲ以テ徴兵ヲ免除セラレ直ニ国民軍ニ編入セラル

明治十九年一月廿七日 京都糸物商組合議員及部長ニ当選ス(爾後数次)

明治十九年一月十八日 実業見学ノ為メ東上ス滞在五十日(爾後数次)

明治廿一年一月十八日 京都糸物商組合長ニ当選ス

明治廿二年七月十二日 臨時全国宝物取調委員社寺局長丸岡完爾氏ニ随行シ京都府下社寺ノ宝物ヲ鑑ル

明治廿三年四月 日 京都糸物商組合理事ニ推選セララル

同年 五月 第三回内国勸業博覧会視察ノ為メ出張ス

同年 七月 五日 上京区元廿三組聯合町会議員ニ当選ス (上京区長増田正)

同年 九月 十七日 京都糸物共進会審査委員ヲ嘱託ス (京都府)

明治廿四年六月廿五日 京都尚武義会委員ヲ嘱託ス (会長尾越蕃輔)

明治廿五年三月廿八日 京都市会議員(二級)ニ当選ス (京都市上京区長増田正)

同年 五月 十三日 平安遷都千百年紀念祭挙行ノコトヲ京都実業協会ニ建議ス

協会ノ名ヲ以テ京都市参事会ニ請願ス則チ之ヲ容レ市会ニ発案ス五月廿八日市会全会一致可決ス

同年 五月 廿八日 平安遷都千百年紀念祭取調委員ニ当選ス (京都市会)

同年 十月 四日 上京第十八学区区会議員ニ当選ス(此時始テ学区会ノ制アリ)

(京都市上京区長代理桜井丈太郎)

同年 十月 十三日 京都糸物商組合取締役ニ当選ス

明治廿六年三月 六日 平安遷都紀念祭委員ニ当選ス(規程改正ノ為ナリ)

(京都市会)

同年 六月 六日 商法施行条令第三十五条ニ依リ破産管財人ヲ命ス(司法省)

同年 八月 三十日 平安遷都紀念祭協賛会委員ヲ嘱託ス (会長公爵近衛篤麿)

同年 九月 十四日 重要物産七組合聯合共進会審査員ヲ嘱託ス

(京都府知事千田貞暁)

明治廿七年二月 六日 第四回内国勸業博覧会委員ヲ嘱託ス(京都糸物商工業組合)

全国五種大会委員ヲ嘱託ス (会頭前田正名)

同年 五月 廿二日 布金会委員ヲ嘱託ス (金地院住職山尾宗愷)

同年 五月 廿三日 京都美術協会常設委員ヲ嘱託ス (会頭中井弘)

同年 六月 三十日 紀念祭協賛会建築裝飾委員ヲ嘱託ス (会長公爵近衛篤麿)

明治廿八年二月十一日 平安神宮御霊代鎮座儀式取調委員ヲ嘱託ス(紀念祭協賛会)

同年 三月 帝國教育大会委員ヲ嘱託ス (会長渡辺千秋)

同年 六月 二十日 平安神宮時代行列取調委員ヲ嘱託ス (会長公爵近衛篤麿)

同年 十月 廿二日 平安遷都千百年紀念式ヲ行ハル御名代晃親王殿下ニ便殿ニ召サレ特ニ拝謁ヲ賜フ

明治廿九年一月廿三日 遷都紀念祭事務終了ニ付委員ヲ解ク

(京都市参事会京都府知事山田信道)

同年 四月 廿四日 新古美術品展覧会糸組物部審査委員ヲ嘱託ス

(京都府知事山田信道)

同年 四月 廿九日 常設保勝委員ニ当選ス (京都市参事会)

同年 五月 十九日 京都坊目誌ヲ編纂セント欲シ始メテ起稿ス

同年 六月 廿二日 商法施行条令第三十五条ニ依リ破産管財人ヲ命ス(司法省)

同年 九月 三十日 上京区第十八学区梅屋校建築委員ヲ嘱託ス

(京都市上京区長増田正)

明治廿九年十月廿四日 日本赤十字社支部上京分區委員ヲ嘱託ス

(京都支部長山田信道)

同年 十一月 十八日 上京第十八学区学務委員ニ当選ス(京都市上京区長増田正)

同年 十二月 二日 京都糸物商工業組合頭取ニ選舉セララル

同年 十二月 廿三日 大日本武徳会地方委員ヲ嘱託セララル(爾後二回)

同年 十二月 廿五日 京都尚武義会委員ヲ嘱託ス (会長男爵山田信道)

同年 十二月 日本赤十字社支部分區委員ヲ嘱託 (日本赤十字社京都支部)

銀閣寺評議委員ヲ嘱託ス (銀閣寺住職宮崎称芳)

明治三十年 一月 廿日 英照皇太后御大葬ニ関シ京都市ニ臨時委員ヲ置ク其道路路部委員ニ選任セララル (京都市会)

同年 四月 一日 京都尚武義会委員ヲ嘱託ス (会長男爵山田信道)

同年 四月 五日 新古美術品展覧会審査員ヲ嘱託ス (会長男爵山田信道)

同年 四月 八日 豊公三百年祭豊国会委員ヲ嘱託ス (会長侯爵黒田長成)

同年 五月 一日 創設紀念博覧会審査員ヲ嘱託ス (会長三井八郎次郎)

同年 十月 一日 豊国会寄附金募集事務ヲ嘱託ス (会長侯爵黒田長成)

同年 十月 本院殿宇焼失ニ付再建費募集取締ヲ嘱託ス (青蓮院門跡)

同年 十二月 二十日 新古美術品展覧会出品委員ヲ嘱託ス (会頭山田信道)

明治三十一年二月九日 京都尚武義会梅屋支部長ヲ嘱託ス (会長内海忠勝)

同年 二月 十三日 第二回五二会全国品評会出品監理委員ニ嘱託ス (会頭前田正名)

同年 二月 四日 上京第十八聯合会共同組合成立ス其幹事ニ推選セララル

同年 二月 二十二日 第一回婦人製品博覧会委員ヲ嘱託ス

同年 三月 廿八日 京都市会議員(二級)ニ当選ス (選挙長京都市上京区長)

同年 四月 一日 京都尚武義会委員ヲ嘱託ス (会長内海忠勝)

同年	四月十二日	新古美術品展覧会審査員ヲ囑託ス	(会頭男爵内海忠勝)
同年	四月十七日	常設保勝委員補欠ニ当選ス	(京都市参事会)
同年	四月廿八日	婦人製品博覧会審査員ヲ囑託ス	(会務総長三井八郎次郎)
同年	六月十二日	京都地方委員ヲ囑託ス	(大日本武徳会会長男爵北垣国道)
同年	九月十六日	上京第十八学区会議員ニ当選ス	(京都市上京区长増田正)
同年	十一月廿四日	上京第十八学区学務委員ニ当選ス	(京都市上京区长増田正)
同年	十二月一日	新古美術品展覧会出品委員ヲ囑託ス	(会頭内海忠勝)
同年	十二月三日	本会委員ヲ御囑託申上候	(京都実業協会幹事)
明治三十二年	二月四日	全国匠匠工芸博覧会出品奨励委員ヲ囑託ス	(会長三井八郎次郎)
明治卅二年	三月二十日	新古美術品展覧会鑑査委員ヲ囑託ス	(会頭内海忠勝)
同年	三月	愛宕会特別委員ヲ囑託ス	(会長侯爵蜂須賀茂韶)
同年	三月	全国絵画共進会評議員ヲ囑託ス	(会頭男爵北垣国道)
同年	四月一日	京都尚武義会委員ヲ囑託ス	(会長内海忠勝)
同年	三月三十日	五二博覧会京都出品人代表者トシテ宮崎県ニ出張ヲ囑託ス	(五二会京都本部)
同年	四月十四日	新古美術品展覧会審査員ヲ囑託ス	(会頭内海忠勝)
同年	四月二十五日	天満宮千年祭北野会委員ヲ囑託ス	(会長公爵二条基弘)
同年	六月六日	商法施行条例三十五條ニ依リ破産管財人ヲ命ス	(司法省)
同年	七月	織田公彰徳会幹事ヲ囑託ス	(会長侯爵久我通久)
同年	八月三十日	京都糸物同業組合議員ニ当選ス	(京都市参事会)
同年	九月廿八日	臨時伝染病予防委員ニ当選ス	(京都府衛生会)
同年	十一月廿八日	京都府衛生会評議員ヲ囑託ス	(京都市衛生会)
同年	十一月	京都体育団理事ヲ囑託ス	(団長伯爵勸修寺頭允)
明治三十三年	十二月廿六日	全国貿易博覧会委員ヲ囑託ス	(会長三井八郎次郎)
同年	三月十八日	新古美術品展覧会鑑査委員ヲ囑託ス	(会頭内海忠勝)
同年	三月二十五日	広隆寺信徒総代ヲ依囑ス	(広隆寺住職箸蔵善龍)
同年	四月一日	京都尚武義会委員ヲ囑託ス	(会長内海忠勝)
同年	四月十日	新古美術品展覧会審査員ヲ囑託ス	(副会頭三井八郎次郎)
同年	五月四日	東宮殿下御慶事奉祝会評議員ヲ囑託ス	(会長高崎親章)
同年	五月十九日	臨時伝染病予防委員ニ当選ス	(京都市参事会)
同年	五月	京都慈善誠順会幹事ニ推選ス	(会頭子爵六角博通)
同年	六月十日	高雄三勝会評議員ヲ囑託ス	(会長内貴甚三郎)
同年	七月三十日	大日本染織競技会出品奨励委員ヲ囑託ス	(会頭内貴甚三郎)
同年	七月	京都出征軍人慰問会委員ヲ囑託ス	(出征軍人慰問会)
同年	九月一日	陸軍第四師団管下弔魂会委員ヲ囑託ス	(会長男爵小川又二)
同年	十一月三十日	上京第十八学区学務委員ニ当選ス	(京都市参事会)
同年	十二月五日	第七回新古美術品展覧会奨励委員ヲ囑託ス	(会頭高崎親章)
明治三十四年	二月二十日	真言宗別格本山神護寺信徒総代ヲ依囑ス	(神護寺住職芦原寂照)
同年	三月十六日	京都商業会議所会員ニ当選ス	(京都市長内貴甚三郎)
明治三十四年	三月二十三日	新古美術品展覧会審査及鑑査員ヲ囑託ス	(副会頭三井八郎次郎)
同年	四月一日	京都尚武義会委員ヲ囑託ス	(会長高崎親章)
同年	四月一日	釈尊遺形拝瞻会協賛委員ヲ囑託ス	(妙法院門跡村田寂順)
同年	四月十七日	京都市学務委員ニ当選ス	(京都市参事会)
同年	四月十七日	全国製産品博覧会審査員ヲ囑託ス	(会長三井八郎次郎)
同年	四月廿七日	出征軍人弔慰祭委員ヲ囑託ス	(会長高崎親章)
同年	八月十四日	京都商業会所建築委員ニ選舉セラル	(会頭西村治兵衛)
同年	八月二十二日	内国製産品共進会評議員ヲ囑託ス	(会長西村治兵衛)
同年	九月十一日	内国製産品共進会高級審査員ヲ囑託ス	(会長西村治兵衛)
同年	十月十八日	五二会臨時品評会審査員ヲ囑託ス	(会長内貴甚三郎)
同年	十月二十八日	第八回新古美術品展覧会出品奨励委員ヲ囑託ス	(会頭高崎親章)
同年	十一月二日	高雄三勝会幹事ヲ囑託ス	(会長内貴甚三郎)
明治三十五年	二月十三日	好古社地方委員ヲ囑託ス	(社長伯爵松浦詮)
同年	二月二十五日	京都市教育会理事ヲ囑託ス	(副会長内貴甚三郎)
同年	三月	保勝会議員ヲ囑託ス	(会長大勳位彰仁親王殿下)
同年	三月二十五日	第八回新古美術品展覧会審査員ヲ囑託ス	(会頭大森鍾一)
同年	四月一日	京都尚武義会委員ヲ囑託ス	(会長法学博士木下広次)
同年	四月九日	京都市教育会評議員ニ特選ス	(会頭大森鍾一)
同年	六月	東亜同文会京都支部評議員ヲ囑託ス	(支部長内貴甚三郎)
同年	七月一日	谷口香嶠合著古制徴證四卷編纂成ル	(護王神社宮司田部等)
同年	九月	護王神社奉養会評議員ヲ囑託ス	(支部長大森鍾一)
同年	十月一日	帝国古蹟取調会支部評議員ヲ囑託ス	(会長公爵鷹司熙通)
同年	十月一日	了以会評議員ヲ囑託ス	(副会長内貴甚三郎)
同年	十二月一日	京都市教育会理事ヲ囑託ス	(会長大森鍾一)
明治三十六年	一月三十日	京都府教育会展覧会会計部委員ヲ囑託ス	(会長大森鍾一)
同年	二月五日	第五回内国勸業博覧会協賛会員募集委員ヲ囑託ス	(会長内貴甚三郎)
同年	四月一日	醍醐寺保存会評議員ヲ囑託ス	(総裁大勳位載仁親王殿下)
同年	六月二十日	織田公彰徳会委員ヲ囑託ス	(総裁公爵鷹司熙通)
同年	十一月二十四日	第九回新古美術品展覧会参考部委員ヲ囑託ス	(会頭大森鍾一)
明治三十七年	一月廿九日	工手学校設立方法調査委員ヲ囑託ス	(会長大森鍾一)
明治三十七年	二月十一日	京都奉公義会委員ヲ囑託ス	(会長大森鍾一)
同年	三月廿五日	新古美術品展覧会審査及鑑査員ヲ囑託ス	(会頭大森鍾一)
同年	三月十七日	京都奉公義会救護委員ヲ囑託ス	(会長大森鍾一)

同年 四月十六日 京都市會議員満期退職ス市学務委員自然消滅ス議員在職通計十二年

同年 四月十九日 京都市学務委員ニ当選ス(前任ノ補欠)

同年 四月三十日 京都市教育会臨時委員ヲ依嘱ス(京都市長内貴甚三郎)

同年 八月十八日 京都美術協会評議員ヲ嘱託ス(会長法学博士木下広次)

同年 八月廿一日 法観寺信徒総代ヲ委嘱ス(法観寺住職井上勉菴)

同年 八月卅一日 京都市学務委員ニ当選ス(新任)(京都市長内貴甚三郎)

同年 九月十九日 上京区第十八学区区會議員ニ当選ス(京都市上京区長代理福山安定)

同年十一月廿六日 京都市教育会評議員ニ特選ス(会長法学博士木下広次)

同年十二月三十日 第十回新古美術品展覧会参考部委員ヲ嘱託ス(会頭大森鍾一)

明治三十八年三月廿四日 京都市會議員ニ当選シタルコト證ス(府下人口増加ノ結果臨時増員ノ為メナリ)

同年 五月十三日 京都府図書館評議員ヲ嘱託ス(京都府知事大森鍾一)

同年 七月 五日 帝國義勇艦隊建設京都市協賛員ヲ嘱託ス(京都府)

同年十一月 八日 京都市教育会評議員ニ特選ス(京都市教育会長法学博士木下広次)

同年十二月十九日 童話伝説俗謡調査委員ヲ委嘱ス(京都市教育会長木下広次)

同年十二月廿六日 第十一回新古美術品展覧会参考部委員ヲ嘱託ス(会頭大森鍾一)

明治三十九年三月九日 英国皇太子殿下御来京ニ付大宮御所ニ於テ古美術品ヲ台覽ニ供ス依テ該委員ニ嘱託セラル(京都市長西郷菊次郎)

同年 四月 一日 上京第十八聯合公同組合幹事ニ再選セラル(会長大森鍾一)

同年 六月 二十日 京都尚武義会常議員ニ当選ス(会頭大森鍾一)

同年 七月 五日 京都美術協会評議員ヲ嘱託ス(会頭大森鍾一)

同年 十月 十二日 京都市教育会主催キども博覧会総務委員ヲ嘱託ス(会頭法学博士木下広次)

同年十二月廿九日 第十二回新古美術品展覧会出品奨励委員ヲ嘱託ス(会頭大森鍾一)

明治四十年四月 一日 大日本武徳会地方委員ヲ嘱託ス(京都支部長大森鍾一)

同年 九月 十七日 真言宗別格本山広隆寺信徒総代ヲ委嘱ス(広隆寺)

明治四十一年三月廿三日 白鶴余光一冊ヲ編纂シ之ヲ出版ス(会頭大森鍾一)

同年六月二十七日 京都美術協会評議員ヲ嘱託ス(会頭大森鍾一)

同年八月三十一日 京都市学務委員満期退職ス(梨木神社宮司野村敷明)

明治四十二年四月十八日 梨木武委員ヲ嘱託ス(会長大森鍾一)

同年四月二十二日 京都尚武義会常議員ニ当選ス(会頭大森鍾一)

同年 六月 一日 第三回全国園芸大会事務委員ヲ嘱託ス(京都府農会)

同年 六月 四日 依嘱ヲ以テ祇園会懸装図鑑一冊ヲ編纂ス(京都府農会)

同年 七月 卅一日 依嘱ヲ以テ梅花帖一冊ヲ編纂刊行ス(京都府農会)

同年十二月十八日 第十五回新古美術品展覧会参考部委員ヲ嘱託ス(会頭大森鍾一)

明治四十三年二月十七日 上京第十八学区学務委員ニ当選ス(京都市長西郷菊次郎)

同年二月二十一日 日本赤十字社京都支部展覧会委員ヲ嘱託ス(支部長大森鍾一)

同年 三月 八日 楠公慈善博愛ノ事蹟取調ノ為メ河内国ニ出張ヲ託セラル(京都府知事)

同年 四月 七日 京都府参事會員ニ当選ス(京都府知事)

同年 四月 八日 土地収用法審査會員ニ推選セラル(京都府参事會)

同年 四月廿一日 委嘱ニ依リ花洛林泉帖二冊ヲ編纂ス(会頭大森鍾一)

同年 七月 三日 京都美術協会評議員ヲ嘱託ス(総裁子爵東園基愛)

同年 九月 一日 常照寺保勝會幹事ヲ嘱託ス(京都市上京区長)

同年 九月 二十八日 東宮殿下府立図書館行啓ニ際シ京都坊目誌上卷廿九編ヲ台覽ニ供シ奉ル知事ヲ經テ花洛林泉帖二冊ヲ献上ス(京都市上京区長)

同年 十月 二十日 上京第十八学区区會議員ニ当選ス(京都市上京区長)

同年十月二十九日 明治維新以来故人トナリシ教育功勞者調査委員ヲ嘱託セラ(京都市教育会長大森鍾一)

明治四十四年一月廿一日 第十六回新古美術品展覧会出品奨励委員ヲ嘱託ス(会頭大森鍾一)

同年 二月 三日 京都教育会創立三十年紀念展覧會委員ヲ嘱託ス(会頭大森鍾一)

同年 二月 十一日 円光大師七百年御忌協賛員ヲ嘱託ス(知恩院門跡山下現有)

同年 四月十三日 京都坊目誌資料調査ノ為メ諸社寺ニ出張ス (會頭大森鍾一)

同年 六月二十日 京都美術協会評議員ヲ囑託ス (會長大森鍾一)

同年 六月二十一日 京都尚武義會常議員ニ當選ス (會長大森鍾一)

大正元年十二月 三日 上京第十八学区学務委員ニ當選ス (京都市長)

同年十二月 四日 上京第十八学区々會議事参与ヲ囑託ス (京都市長川上親晴)

大正二年 二月 七日 京都皇宮御苑内旧地園調查委員ヲ囑託ス (京都府教育會)

同年 三月 一日 京都史蹟會幹事ニ推選ス (會長子爵清岡長言)

同年 四月十九日 舞鶴築港紀念全國物産博覽會審査員ヲ囑託ス (名譽會長大森鍾一)

同年 七月 懸賞募集大典紀念飴具審査員ヲ囑託ス (京都商業會議所會頭浜岡光哲)

同年 八月十五日 北陸四県美業視察調査ヲ囑託ス (京都府)

同年 九月 六日 舞鶴港灣利用上視察ヲ囑託ス (京都府)

同年 九月十六日 菊花婦人會相談役ヲ委囑ス (會長大森齡子)

同年 九月十七日 七卿遺墨展覽會委員ヲ依囑ス (京都市教育會會長久原躬弦)

同年 十月 二日 京都市小学校教員ヲ對シ京都地理歴史ニ関スル講習會講師ヲ囑託ス (京都市長井上密)

同年 十月十九日 兩陛下京都御所行在遊サルヲ以テ府會議員トシテ參内天機ヲ奉伺ス (京都市上京區長)

同年十一月十五日 上京第十八学区會議員ニ當選ス (京都市長井上密)

大正三年 一月 四日 大典紀念京都博覽會評議員ニ推選ス (京都市長井上密)

大正三年 一月 七日 京都名勝記編纂方ヲ囑託ス (京都市長井上密)

同年 一月二十三日 古跡標石建設委員ヲ依囑ス (京都市教育會長理學博士久原躬弦)

同年 四月十一日 職業宗教統計調查監督ヲ囑託ス (上京區長尾形惟昭)

大正四年九月二十四日 京都府會議員滿期退職ス 在職通計滿十年七ヶ月

同年 十月 十日 西陣織物館商議員ヲ囑託ス (西陣織物同業組合組長池田有藏)

大正四年十一月 十日 天皇陛下紫宸殿ニ御即位ノ大札ヲ奉ケサセラルル十八学区民一千余人ヲ梅屋尋常小学校々庭ヲ招集シ午後三時三十分拜賀式ヲ奉ク臣ハ區民ヲ校長ハ生徒ヲ代表シ恭シク無言拜禮ヲ為ス再ヒ進ミテ万歳ヲ三唱ス一同之ニ唱和ス

同年十一月十六日 御即位大札後大饗第一日ノ御儀ニツキ京都御所第二朝集所ニ於テ饗饌ヲ賜フ (宮内大臣男爵波多野敬道)

同年十一月十八日 京都市奉祝大園遊會平安神宮神苑ニ行フ之ニ參列ス (京都市長井上密)

同 年十一月廿一日 京都府奉祝大園遊會府庁前庭ニ行フ之ニ參列ス (京都府知事大森鍾一)

大正五年 二月十八日 (大正四年十一月十日附) 勅令第五百五十四号ノ旨ニ依リ大札記念章ヲ授与セラル (第三万二千七百二十一号)

同年四月二十八日 明治神宮奉贊會支部上京委員ヲ囑託ス (會長公爵德川家達)

同年五月二十五日 京都美術協會評議員ヲ囑託ス (副會頭三井八郎次郎)

同年 八月 十日 同仁會京都支部委員部委員ヲ囑託ス (支部長木内重四郎)

同年十一月十三日 京都市教育會評議員ニ當選ス (會長理學博士久原躬弦)

同年十一月三十日 京都坊目誌老部五帙八十六編全ク編纂成ル

同年十二月 六日 上京第十八学区学務委員ニ當選ス (京都市長代理石川濟治)

同年十二月 十日 上京第十八学区々會議事参与ヲ依囑ス (京都市長代理石川濟治)

大正六年 五月十八日 有職保存會臨時委員ヲ囑託ス (會長子爵清岡長言)

同年 六月十六日 史蹟勝地調查會評議員ヲ囑託ス (京都府知事木内重四郎)

同年 六月三十日 上京第十八學校梅屋建校建築準備委員ヲ囑託ス (京都市長大野盛郁)

同年 七月 七日 同仁會京都支部上京委員部委員ヲ囑託ス (支部長木内重四郎)

同年 八月廿六日 愛宕郡青年會及在郷軍人會講習會講師ヲ依託セラル (團長大僧正吉水賢融)

大正六年 十月 七日 京都仏教護國團理事ヲ囑託ス (京都市長井上密)

大正七年 三月 八日 史蹟勝地調查會委員ヲ兼囑ス (京都市長井上密)

大正七年 四月 一日 京都市附近十六町村市ニ編入セシメテ町名稱選定方ヲ依囑セラル (京都市長井上密)

同年十二月 七日 全國染織工業博覽會評議員ヲ囑託ス (會長男爵三井八郎次郎)

同年十二月十三日 人口職業宗教統計調查監督ヲ囑託ス (上京區長尾形惟昭)

同年十二月二十五日 京都市教育會評議員ニ當選ス (會長安藤謙介)

同年十二月二十五日 上京第十八学区学務委員ヲ辭任ス (京都市長安藤謙介)

大正八年一月二十五日 上京第十八学区学務委員ニ當選ス (京都市長安藤謙介)

同年 三月 二日 建武功臣千種忠顯建碑委員ヲ委囑セラル

同年 七月十八日 是ヨリ先米佃未曾有ノ騰貴ヲ為ス一部下級ノ市民隨所ニ暴行シ生活ノ不安ヲ叫フ茲ニ臨時救濟團成ル其旨ヲ体シ外米ヲ購入シ廉売ノ任ニ當ル凡ソ五十日

大正九年 一月 上京第二聯合学務委員會ニ於テ京都市罹災填補基金委員ニ當選ス (京都市長安藤謙介)

同年 二月十七日 華頂高等女學校商議員ヲ囑託ス (知恩院門跡山下現有)

同年 六月 八日 京都市臨時國勢調查部参与委員ヲ囑託ス (京都市長安藤謙介)

同年 七月二十日 國勢調查員ヲ命ス (内閣)

同年 七月二十日 公同委員ヲ囑託ス (京都府)

同年十一月 八日 京都美術協會評議員ヲ囑託ス (會頭馬淵銳太郎)

大正十年 一月十四日 京都市罹災填補基金委員ニ推選セラル (上京第二聯合学務委員會)

同年 四月十一日 太秦聖徳太子報徳会評議員ヲ嘱託ス (会長馬淵鋭太郎)
同年 四月二十二日 太秦聖徳太子報徳会幹事ヲ嘱託ス (会長馬淵鋭太郎)
同年 五月二十日 全国工業博覧会評議員ヲ嘱託ス (会長浜岡光哲)
同年 十月 一日 西陣織物館商議員ヲ嘱託ス (西陣織物同業組合組長池田有蔵)

同年 十月 一日 京都尚武義会委員ヲ嘱託ス (京都尚武義会)
同年十二月 五日 家庭博覧会評議員ヲ嘱託ス (会長若林資蔵)
大正十一年四月廿六日 (日附十年七月一日) 勅令第二百七十二号ノ旨ニ依リ第一回國勢調査記念章ヲ授与セラル (八千九十三号)

同年九月二十八日 太秦能楽会評議員ヲ嘱託ス (賞勳局総裁伯爵兒玉秀雄)
大正十一年九月三十日 京都糸物競技会審査員ヲ嘱託セラル (京都糸物同業組合)
同年 十月 一日 借地借家調停委員ニ選任ス (京都地方裁判所所長黒田英雄)

同年十一月 三日 皇后陛下広隆寺行啓仰出サレ候ニ付準備委員ヲ嘱託ス (会長馬淵鋭太郎)
同年十一月十三日 皇后陛下広隆寺ニ行啓遊サル中門ノ側ニ於テ拜謁ヲ賜フ (先ニ御沙汰ニヨリ名簿ヲ捧呈ス)

同年十一月三十日 京都美術協会評議員ヲ嘱託ス (会頭池松時和)
同年十二月 九日 第二回家庭博覧会評議員ヲ嘱託ス (会頭池松時和)
大正十二年一月 四日 借地借家法調停委員ニ選任ス (京都地方裁判所所長黒田英雄)

同年 三月 京土産新趣向品展覧会審査ヲ嘱託ス (京都商業会議所会頭浜岡光哲)
同年 九月 關東未曾有大震災ニ罹ルヲ以テ全市各公同組合ノ申合ニ依リ救恤義金ヲ募集シ吾小区内ニ於テ一万四千四百七十五円五拾錢ヲ得之ヲ京都府ニ託ス

同年十一月十五日 京都市立盲啞院商議員ヲ嘱託ス (京都市長馬淵鋭太郎)
大正十三年一月 四日 借地借家法調停委員ニ選任ス (京都地方裁判所所長中西用徳)

同年 一月廿二日 京都市罹災填補基金委員ニ推選セラル (上京第二聯合学務委員会)
同年 二月 三日 京都史蹟会財団理事ヲ嘱託ス (会長子爵清岡長言)
同年 二月二十日 京都府親和会協議員ヲ嘱託ス (会長池松時和)

同年十月二十五日 北野会幹事ヲ嘱託ス (会長侯爵前田利為)
同年十一月 十日 北野会総務部兼募集委員ヲ嘱託ス (会長侯爵前田利為)
同年十一月廿九日 北野会事業部委員ヲ嘱託ス (会長侯爵前田利為)
同年十二月 三日 上京第十八学区学務委員ニ当選ス (京都市長代理多久安信)

同年十二月二十九日 優良国産博覧会評議員ヲ嘱託ス (会長池田宏)
大正十四年一月 一日 借地借家法調停委員ニ選任ス (京都地方裁判所所長田中右橋)

同年 一月十二日 京都市罹災填補基金委員ニ推選セラル (上京第二聯合学務委員会)
同年 三月 財団法人京都府消防協会評議員ヲ嘱託ス (会長伊藤昌庸)
同年 七月十一日 赤十字展覧会委員ヲ嘱託ス (日本赤十字社京都支部長池田宏)

同年 八月 一日 国勢調査員ヲ命ス (内閣)
同年 八月 一日 失業統計調査員ヲ命ス (内閣)
同年 十月 一日 西陣織物館商議員ヲ嘱託ス (西陣織物同業組合組長池田有蔵)

同年十一月 十日 保勝会幹事ヲ嘱託ス (会長男爵九鬼隆一)
大正十四年十一月 善峯寺興隆会幹事ヲ嘱託ス (会長子爵本莊宗久)
大正十五年一月 一日 管内借地借家爭議調停委員ニ選任ス (京都地方裁判所所長石井豊七郎)

同年 三月 八日 上京第十八学区々會議事参与員ヲ嘱託ス (京都市長安田耕之助)
同年 七月 七日 道路名称選定事務ヲ嘱託ス (京都市長安田耕之助)
同年 七月 七日 京都糸物同業組合代議員ニ当選ス (京都糸物同業組合組長小篠長兵衛)

同年十一月 一日 (本日より大正十六年十月三十一日マテノ間) 商事調停委員ニ選任ス (京都地方裁判所所長荒井操)
同年十一月廿八日 京都美術協会評議員ヲ嘱託セラル (会頭浜田恒之助)
昭和二年 一月 一日 管内借地借家爭議調停委員重テ依嘱ス (京都地方裁判所所長荒井操)

同年 十月 一日 西陣織物館商議員ヲ嘱託ス (京都地方裁判所所長荒井操)
同年十一月 一日 管内商事調停委員 (昭和三年十月迄) 重テ選任ス (西陣織物同業組合組長大島佐兵衛)

同年十一月 三日 自治功勞者表彰規程ニ仍リ表彰セラル (京都地方裁判所所長遠藤武治)
同年十一月 三日 自治功勞者表彰規程ニ仍リ表彰セラル (京都府知事大海原重義)

賞
明治廿九年四月二十日 遷都紀念祭委員トシテ功勞顯著ナリトシ謝状ニ附シテ金參拾円ヲ贈与セラル (京都市参事会京都府知事山田信道)
同年 五月 三日 遷都紀念祭協賛会委員トシテ其功勞ヲ表彰シ銀製湯沸一個ヲ贈与セラル (会長公爵近衛篤磨)

明治三十年三月十一日 御大葬ニ関シ諸事注意行届尽力不尠慰勞トシテ御下賜金ノ内金五拾円ヲ分与ス (京都市参事会京都府知事山田信道)
明治三十一年六月 別格本山太秦広隆寺維新後ノ變遷ニ遭遇シ伽藍荒蕪ノ処幹旋ニ依リ旧觀ニ復ス仍テ目別ノ物品ヲ贈リ感謝ノ意ヲ表ス (真言宗長者大僧正三神快運)

同年 六月 十日 全国漆器漆生産府県聯合共進會開設ニ関シ特別ノ尽力ヲ煩ス(中略)木杯一個ヲ贈リ感謝ノ意ヲ表ス

明治三十六年八月 京都商業會議所會員在職中其功勞多シトナシ銀杯一個ヲ贈与セラル (京都府知事内海忠勝)

明治三十七年四月十五日 (前略)市會議員ニ當選シ爾來十二年能ク其職責ヲ尽シ其間常設保勝委員市學務委員ヲ兼拮拮勵精本市ノ為メ貢獻セラレタル所尠シトセス(中略)第一号有功章ヲ贈与シ其功勞ヲ表彰ス (京都市參事會京都市長内貴甚三郎)

明治三十九年六月一日 明治三十七八年役ニ際シ委員トナリ資金募集出征者ノ犒軍傷病兵ノ慰問軍人家族遺族ノ慰問救護等ノ任ニ當リ終始一貫鞠躬尽瘁シ(中略)紀念杯一個ヲ贈呈シ聊カ酬勞ノ意ヲ表ス (京都奉公義會會長大森鍾一)

同年 六月 一日 明治三十七八年戰役ニ際シ(中略)其勞詢ニ俾ナリトス(中略)紀念品ヲ贈呈シ以テ感謝ノ意ヲ表ス (日本赤十字社長伯爵松方正義)

明治四十年十一月三日 多年本市ノ公職ヲ帶ヒ拮拮盡瘁其功勞多大ナ(中略)飾板ヲ贈リ其功績ヲ表彰ス (京都市長西郷菊次郎)

明治四十四年九月十一日 鞍馬寺仁王門及勅使門再建ニ際シ多額ノ淨財ヲ寄附シ委員トシテ克ク任務ニ努メ拮拮經營以テ完成シ(中略)依テ宗祖大師將來目錄ヲ授与ス(下略) (天台座主大僧正不二門智光)

大正五年十二月二十五日 京都市ニ於ケル御大禮事務ニ関シ慰勞トシテ金參拾圓ヲ附与セラル (京都市)

大正六年 一月十三日 京都坊目誌老部、右御即位奉祝ノ為獻上ノ段御満足ニ被御思召候事 (宮内省)

同年 二月十一日 京都坊目誌ヲ著ハシ本市街ノ變遷沿革ヲ考証論述セラレタルハ本市ニ裨益スルコト尠カラサルモノトス依テ其功勞ヲ表彰スル為メ金壹百圓ヲ贈呈ス (京都市長大野盛郁)

同年 八月 一日 京都市上京區聯合公同組合幹事會ヨリ(長文略ス)功績狀ヲ贈与セラル

大正七年十二月 十日 教育彰功狀(長文略ス)ヲ贈与セラル(京都市長安藤謙介)

同年十二月十五日 小学校創立五十年記念ニ際シ(長文略ス)彰表狀ヲ附与ス (京都市長安藤謙介)

同年十二月二十一日 今夏米価未會有ノ昂騰ヲ示シ中産階級以下ノ市民生活ニ恐慌ヲ來シ物價騷然タルノ秋本市施設ノ外米廉売ニ関シ幫助尽瘁以テ緩和ノ功ヲ奏ス(中略)紀念品ヲ贈リ感謝ノ意ヲ表ス (京都市長安藤謙介)

大正七年 五月 七日 京都府支部上京區委員トシテ支部長ヲ佐ケ獻金取纏ニ尽力セラル仍テ感謝ノ意ヲ表ス

大正八年十二月 六日 第一琵琶湖疏水事業施行中(中略)市會議員ノ職ニ就カレ熱誠協翼本市ニ寄与セラレタル功勞詢ニ尠トセス茲ニ疏水開通三十年記念式ヲ挙ルニ苴ミ銅製花瓶ヲ贈呈シ其功勞ヲ表彰ス (京都市長安藤謙介)

大正九年 四月 大正七年新二十六町村ヲ京都市ニ編入セシニ際シ其尽力ノ廉ヲ以テ金壹百圓ヲ贈呈ス(京都市長代理助役水入善三郎)

大正十年七月三十一日 京都府警察官後援會感謝狀(全文略) (會長若林資藏)

大正十三年一月二十六日 多年公同組合幹事及學務委員トシテ本市ノ為メ盡瘁セラレ其功勞カラス茲ニ皇太子殿下御成婚ノ嘉辰ニ當リ銀杯壹組ヲ贈リ之ヲ表彰ス (京都市長馬淵銳太郎)

同年三月三十一日 (前略)震災調査ニ関シ克ク其趣旨ヲ体シ熱心調査ニ尽瘁セラレ有リ力ナル資料ヲ得テ善後施設上裨益スル処尠カラス依テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス (臨時震災救護事務局局長池田宏)

大正十三年四月二十四日 上京第十八聯合公同組合幹事及本會理事兼務中其功勞不尠依テ慰勞金ヲ贈呈シ感謝ノ意ヲ表ス (上京區聯合公同組合幹事會理事伊達虎一)

大正十三年十二月十五日 (前略)會務ニ尽力セラレ其功績トセス茲ニ慰勞品ヲ贈呈シ感謝ノ意ヲ表ス (京都市尚武義會)

大正十四年十二月一日 本年施行ノ國勢調査並ニ失業統計調査ニ関シ尽力セラレタル所尠カラス仍テ其勞ヲ謝ス (内閣統計局長下條康麿)

昭和二年十一月三日 自治功勞者トシテ徽章并ニ紀念品(三組銀杯壹組)ヲ附与セラル (京都府知事大海原重義)

其他明治廿七八年役ノ際軍資軍充品獻納、京都感化院、紀念祭協贊會、豊國會、和氣會、盲啞院寄附金、明治三十三年北清事變ノ際血兵費ノ内ニ獻金、五回内國勸業博覽會協贊會寄附金、明治三十六年風水害罹災者救助金ノ内へ寄附金、帝國京都大學へ參考品寄贈、東北三県凶作窮民救恤金、明治神宮奉贊會、北野會、奥山會、豊國神社、広隆寺興隆會等ノ寄附金ニ對シ賞詞或ハ賞品又ハ功勞狀或ハ感謝狀ヲ授与下附又ハ贈ララル、コト多シ

東京帝國大學文學部史料編纂ニ對シ大學總長ヨリ謝狀ヲ贈ララル

罰ナシ 右之通相違無之候也

大正十五年七月三十日 昭和三年一月修正 確井小三郎

以上が「履歴書」である。最後に、小三郎の死去に関して記し、稿を閉じる。

小三郎は、一九二六（大正十五）年九月よりしばしば貧血をおこしていたが、この履歴書を書いた直後の一九二八（昭和三）年三月一日、調停委員として地方裁判所に赴いた際に目眩をおこし、不調を訴えた。それでもその日は、執務を済ましてから帰宅し、床に伏す。病状は改善せず、夜には聴覚を失い、五日ごろから衰弱が始まり、十日夜からは昏睡状態となった。そして、十一日午後七時十分永眠。享年六十二。郁五堂戒誓精嚴居士。三月廿日、正七位が追贈された。

告別式は、十四日に自宅で行われた。式には、市長代理として安川和三郎助役が参列し、盛大に執り行われた（『京都日出新聞』三月十五日付）。当日の「到来帳」には土岐嘉平市長、安川・岡田喜久治の両助役をはじめ、近衛文麿（貴族院議員、後に首相）・鷲野米太郎・加藤小太郎（ともに元助役・元衆議院議員）・内貴清兵衛（呉服商、甚三郎〈元市長〉の長男）・飯田新七（高島屋社長）・西村吉右衛門（西陣織物商）・島津常三郎（島津製作所常務）・大谷光瑞（東本願寺門主）・リチャード・ポンソンビィフェイン（京都一中教員、日本文化愛好家）らの各界著名人や、交誼を結んでいた出雲路通次郎（有職故実の研究者）・三浦竹泉（清水焼の陶工）・中村雅真（元奈良町長、古物蒐集家として著名）らの名が記され、さらには関係の深かった梅屋小学校や保勝会のような各種団体、平安神宮・北野天満宮・広隆寺・鞍馬寺など多数の社寺からも弔意が捧げられている。小三郎の交遊の広さと、多くの公職に携わってきたことがここにもあらわれている。墓は金戒光明寺の北墓地にある。

歴史資料館だより

今年六月、「公文書等の管理に関する法律」（通称、公文書管理法）が国会で成立し、七月一日に公布されました。これは、国の公文書の取扱について定めたものですが、その第三十四条には、「地方公共団体は、この法律にのっとり、その保有する文書の適正な管理に関して必要な施策を策定し、及びこれを実施するよう努めなければならない」とありま

す。

歴史資料館に関わるのは、この中で「歴史資料として重要な公文書その他の文書」（歴史公文書等）とされているものです。京都市が二〇〇七年（平成十九）四月に施行した新しい公文書管理規則の中で、「歴史的公文書」について一項目が設けられたことは、この編さん通信第三十一号で報告しました。それから二年が経過し、「歴史的公文書」に関する理解をさらに広めていく必要性を感じています。また、今のところは、ごく一部の「歴史的公文書」を引き受けただけですが、早くも収蔵庫の確保など体制の整備が課題となっています。

「歴史的公文書」とはどういうものか。もし興味を持たれた方がおられましたら、八月十六日まで歴史資料館で開催中の市政史刊行記念展「こんなに変わった京都く三大事業・都市計画事業・戦時疎開く」をぜひ見に来てください。その中に展示されている地図類や「京伏合併問題研究書類」などといった簿冊類は、その典型的なものです。これからもこうしたものを後世に守り伝えるため、皆様の情報提供をお待ちしています。

京わらべ

◆ この三月に『京都市政史』第一巻を刊行しました。歴史資料館には、それを読まれた方から史料を閲覧したいとか、もっと詳しく知りたいなどの問い合わせが相次いでいます。まだご覧になっていない方も、ぜひお手にとって見てください。とくに、索引には本書に掲載した人名と京都市関係施設をすべて掲載しましたので、辞典としても使えると思います。

◆ 今年度は第二巻の執筆者を中心に研究会を開催しています。九月にも二回行予定です。

◆ 本号に史料紹介を寄稿した井上幸治は当館嘱託です。確井小三郎は、京都の歴史を研究する者にとつては必読文献のひとつ『京都坊目誌』の著者として知られています。ご遺族のご協力で翻刻させていただきましたのでご活用下さい。（丈）

発行日 二〇〇九年七月二〇日

発行 京都市市政史編さん委員会

所在地 京都市上京区寺町通丸太町上る

京都市歴史資料館内

電話 〇七五（二四一）四三一二